

# 全国中小企業動向調査結果

(2022年7-9月期実績、10-12月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、厳しい状況にあり、足踏みしている

(前回)厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲35.8となった。  
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲17.3となった。  
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲29.4となった。  
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲35.8 (-2.2)	▲17.3 (-4.3)	▲29.4 (-0.4)	▲27.9 (-8.5)	▲18.6 (-3.6)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる

(前回)一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期から低下し、5.5となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から上昇し、18.1となった。  
来期以降も上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲11.7となった。  
来期以降はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
5.5 (-1.7)	18.1 (+1.6)	▲11.7 (-2.3)	▲0.8 (+0.3)	3.8 (-0.9)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:星田、立澤)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:小針、藤井)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

※資料編につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

## 目次

調査結果の概要	1
---------	---

### 【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

### 【中小企業編】

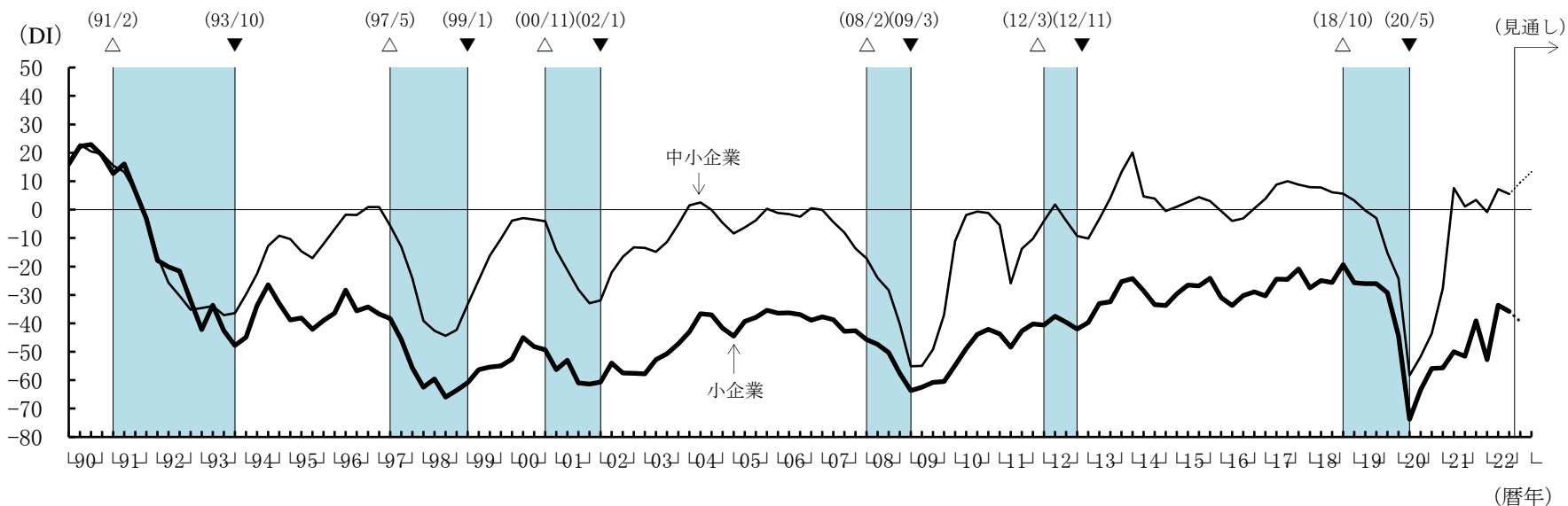
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

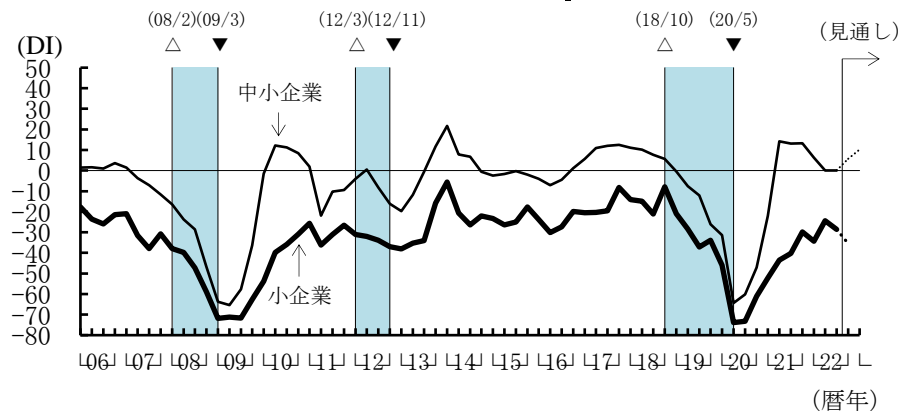
### ①全業種計

	20.7-9	20.10-12	21.1-3	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3
中小企業	▲ 51.7	▲ 43.7	▲ 27.8	7.6	1.1	3.4	▲ 0.9	7.2	5.5	見通し	見通し
小企業	▲ 63.3	▲ 55.9	▲ 55.6	▲ 50.0	▲ 51.6	▲ 39.1	▲ 52.8	▲ 33.6	▲ 35.8	▲ 39.4	-



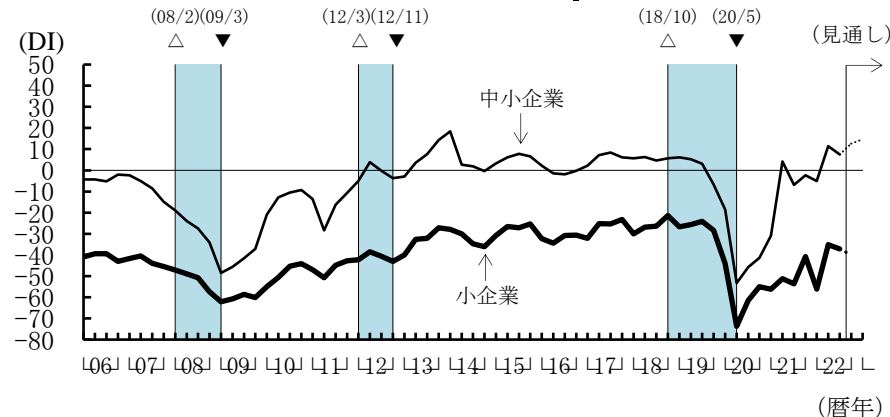
### ②製造業

	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3
中小企業	6.2	0.1	0.1	見通し	見通し
小企業	▲ 34.4	▲ 24.5	▲ 28.6	▲ 35.5	-



### ③非製造業

	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3
中小企業	▲ 5.1	11.5	7.5	見通し	見通し
小企業	▲ 56.0	▲ 35.2	▲ 37.1	▲ 40.0	-

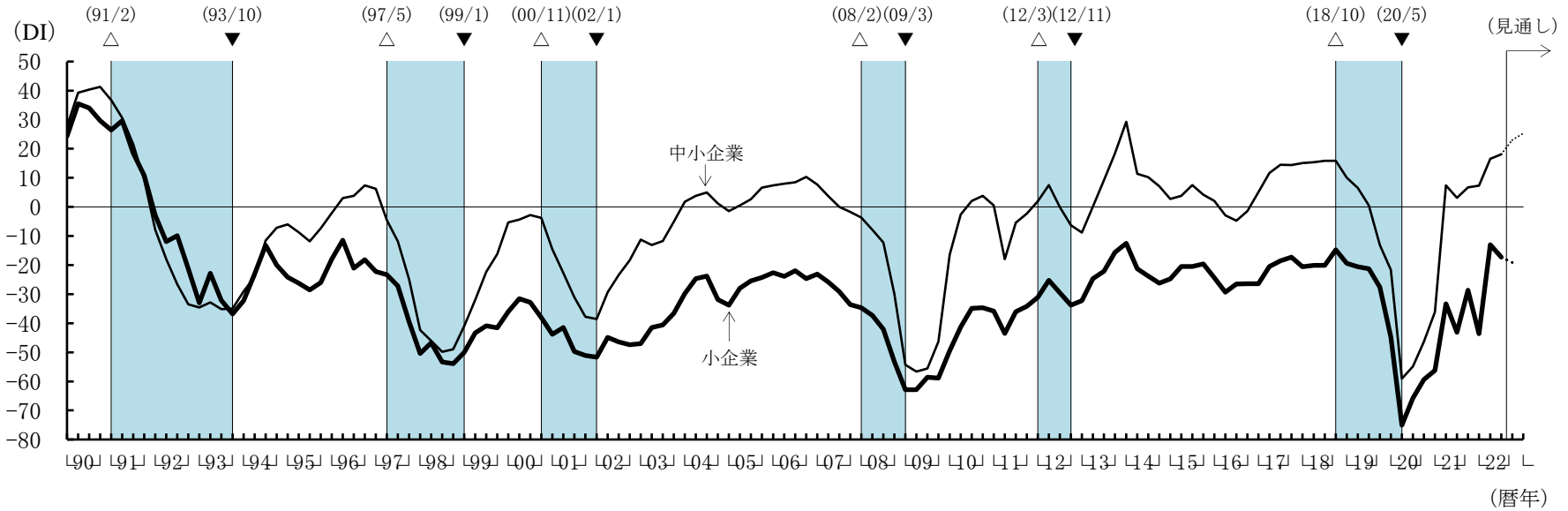


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

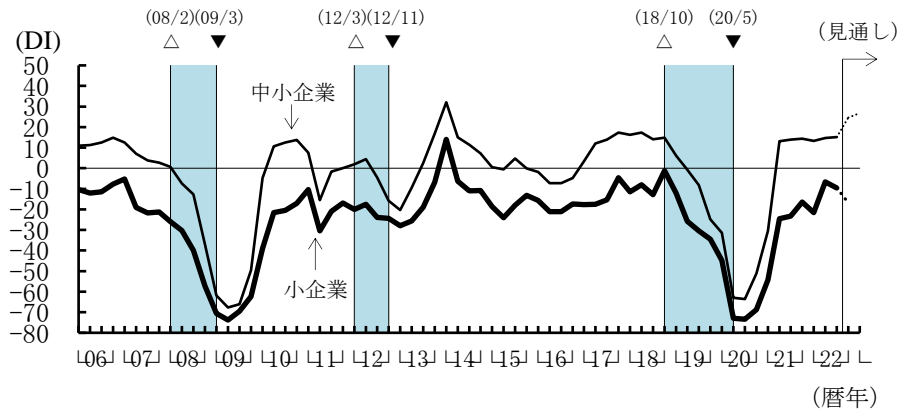
### ①全業種計

	20.7-9	20.10-12	21.1-3	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3
中小企業	▲ 54.9	▲ 46.4	▲ 36.1	7.4	3.1	6.7	7.3	16.5	18.1	見通し	見通し
小企業	▲ 65.8	▲ 59.3	▲ 56.2	▲ 33.3	▲ 43.1	▲ 28.6	▲ 43.6	▲ 13.0	▲ 17.3	▲ 19.1	-



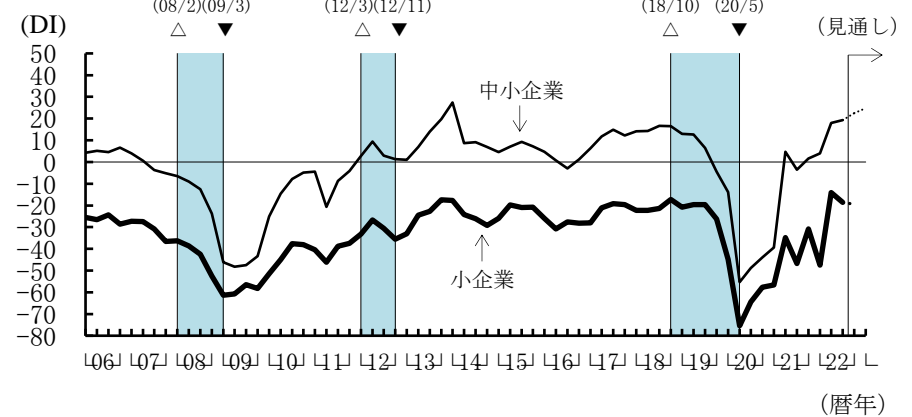
### ②製造業

	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3
中小企業	13.3	14.6	15.1	見通し	見通し
小企業	▲ 21.6	▲ 6.6	▲ 9.5	▲ 16.8	-



### ③非製造業

	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3
中小企業	4.0	18.0	19.3	見通し	見通し
小企業	▲ 47.5	▲ 14.1	▲ 18.5	▲ 19.5	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

# 小 企 業 編

(2022年7-9月期実績、10-12月期見通し)

小企業の景況は、厳しい状況にあり、足踏みしている

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2022年9月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先 10,000 企業
有 効 回 答 数	6,951 企業 [回答率 69.5 %]

### < 業 種 構 成 >

		調 査 対 象	有 効 回 答 数	
製 造 業	(従業員20人未満)	1,500 企業	1,004 企業	( 構 成 比 14.4 %)
卸 売 業	( 同 10人未満)	800 企業	664 企業	( 同 9.6 %)
小 売 業	( 同 10人未満)	2,450 企業	1,618 企業	( 同 23.3 %)
飲食店・宿泊業	( 同 10人未満)	1,800 企業	1,098 企業	( 同 15.8 %)
サ ー ビ ス 業	( 同 20人未満)	2,000 企業	1,488 企業	( 同 21.4 %)
情 報 通 信 業	( 同 20人未満)	160 企業	85 企業	( 同 1.2 %)
建 設 業	( 同 20人未満)	1,100 企業	834 企業	( 同 12.0 %)
運 輸 業	( 同 20人未満)	190 企業	160 企業	( 同 2.3 %)

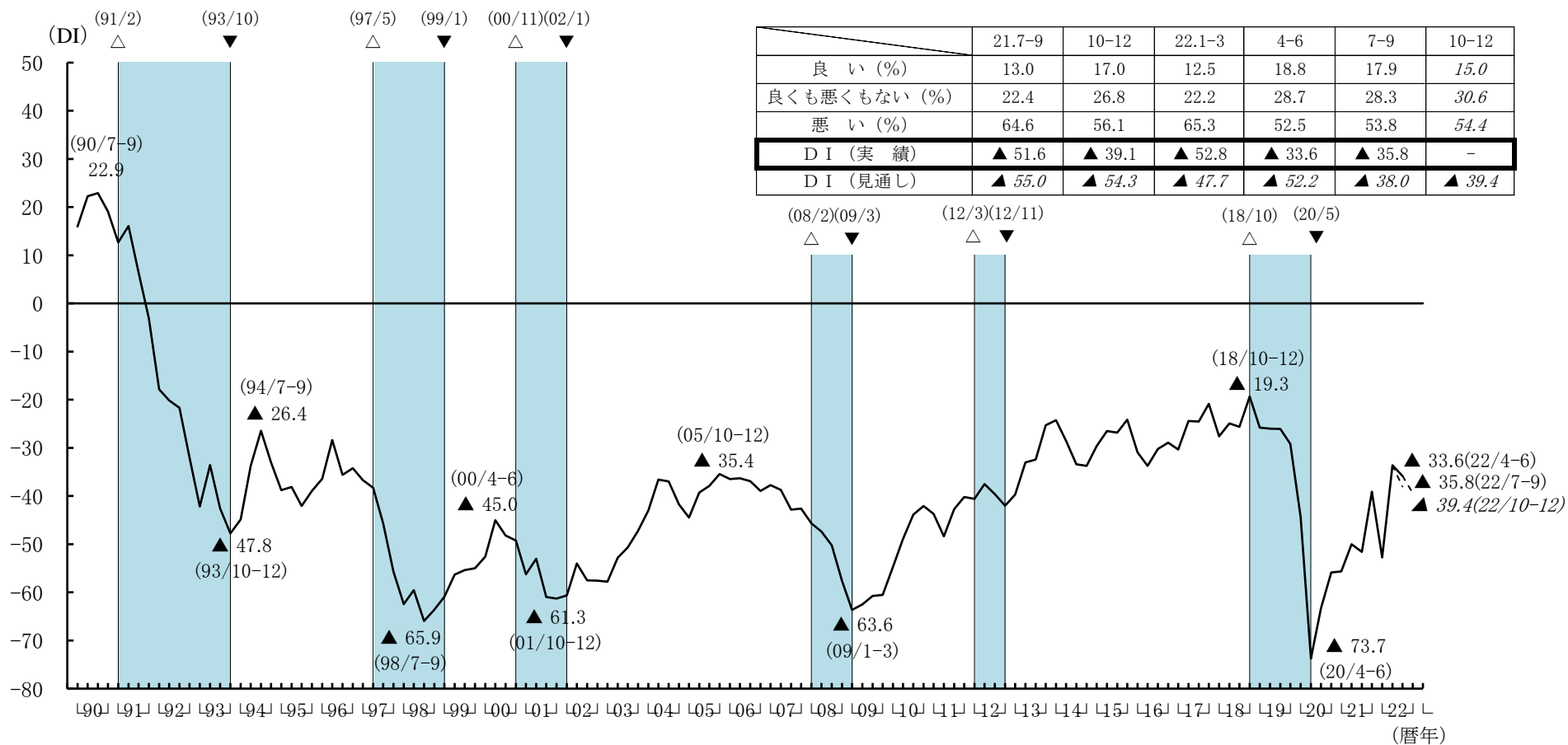
(参 考)

法 人	4,613 企業	( 構 成 比 66.4 %)
個 人	2,338 企業	( 同 33.6 %)

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2022年4-6月期）からマイナス幅が2.2ポイント拡大し、▲35.8となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大し、▲39.4となる見通しである。

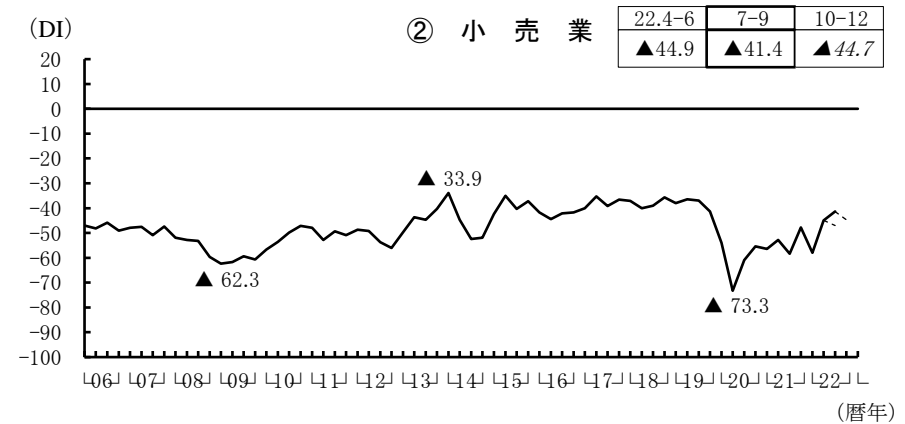
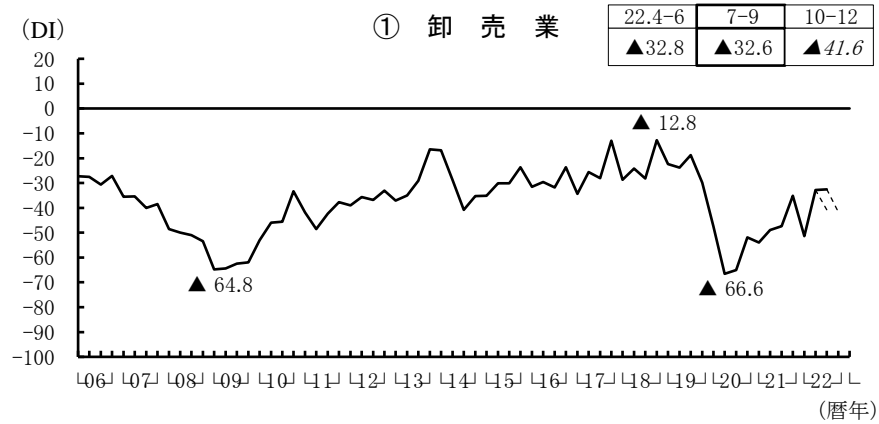
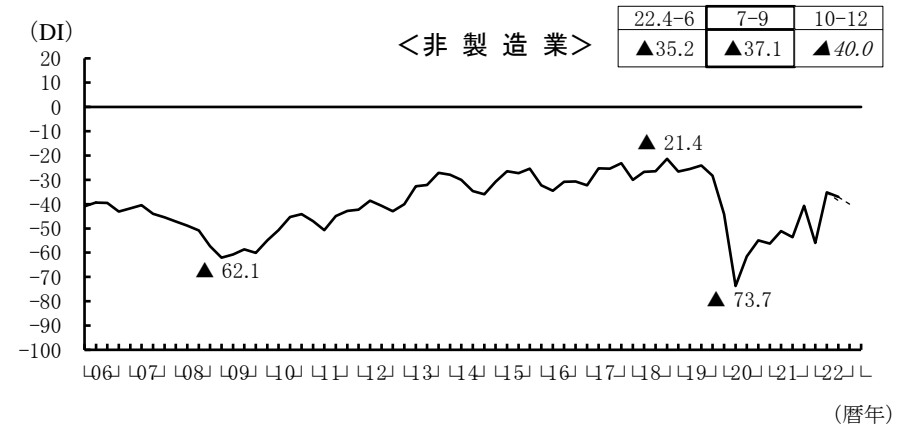
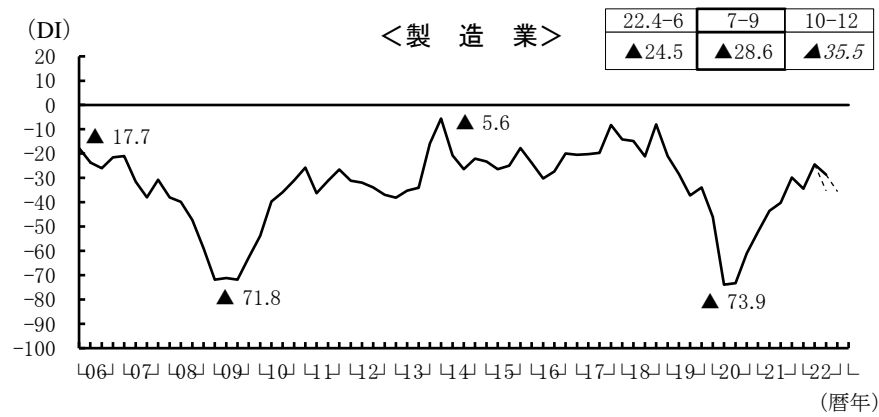
図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



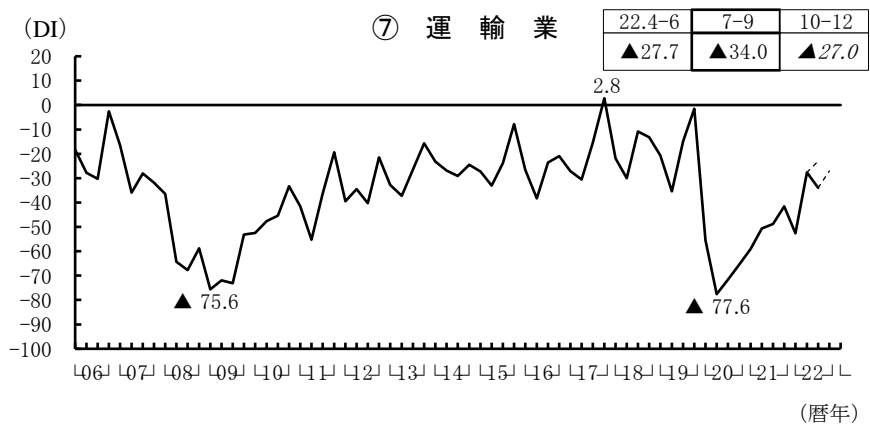
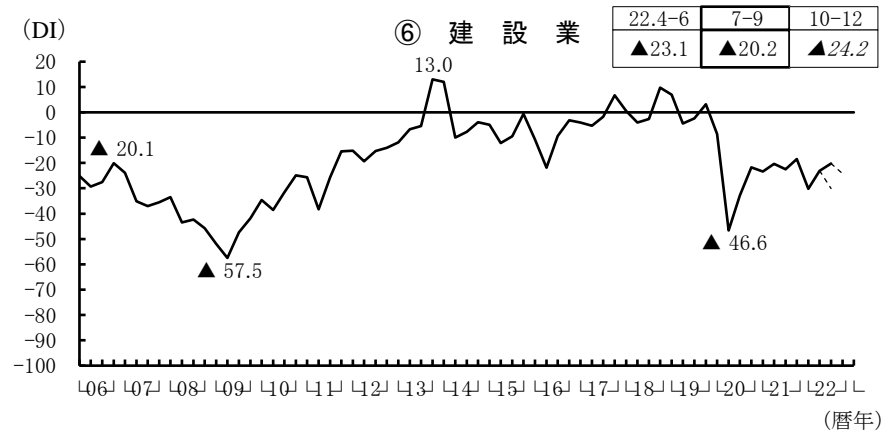
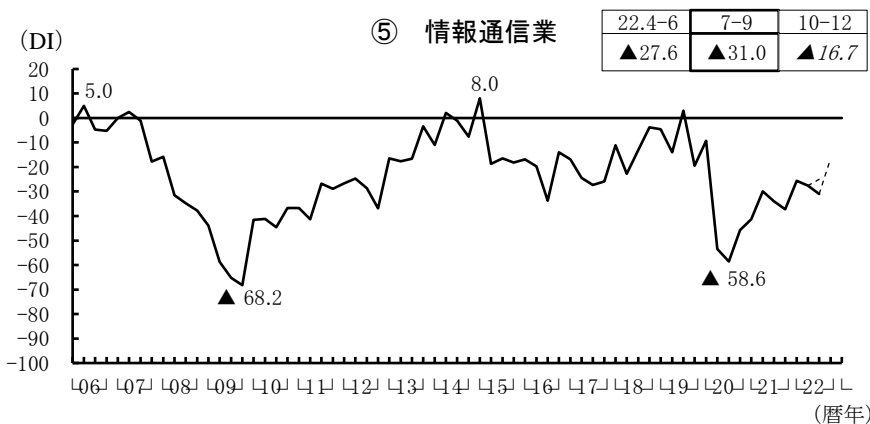
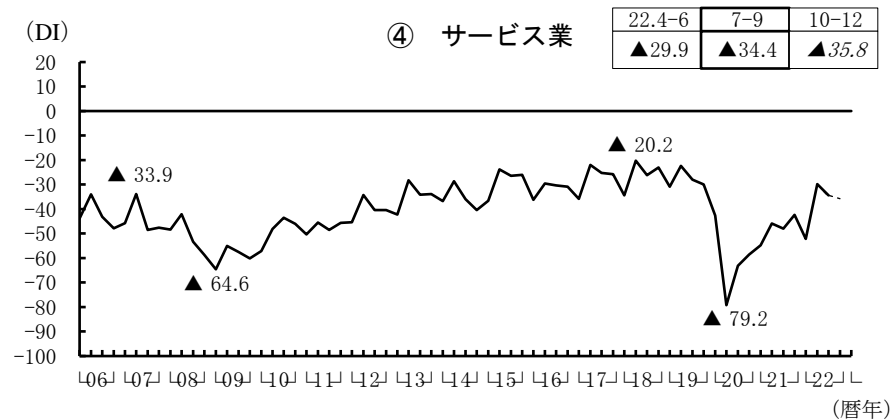
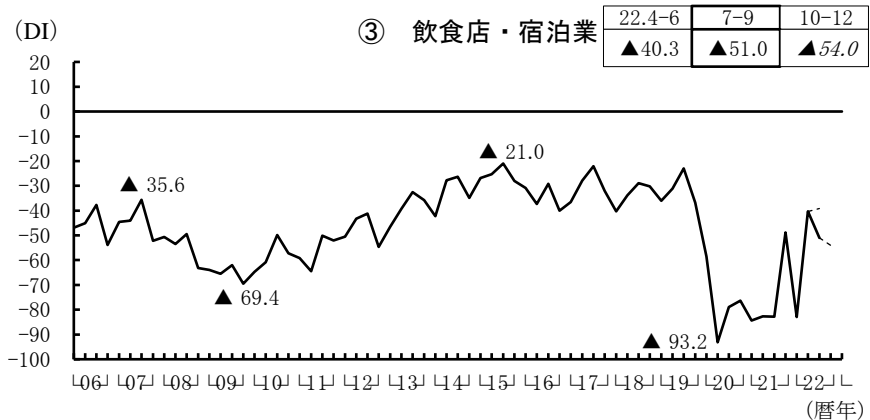
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

- 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲28.6）、非製造業（▲37.1）ともにマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類業種のうち、卸売業、小売業、建設業を除くすべての業種でマイナス幅が拡大した。
- 来期も、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

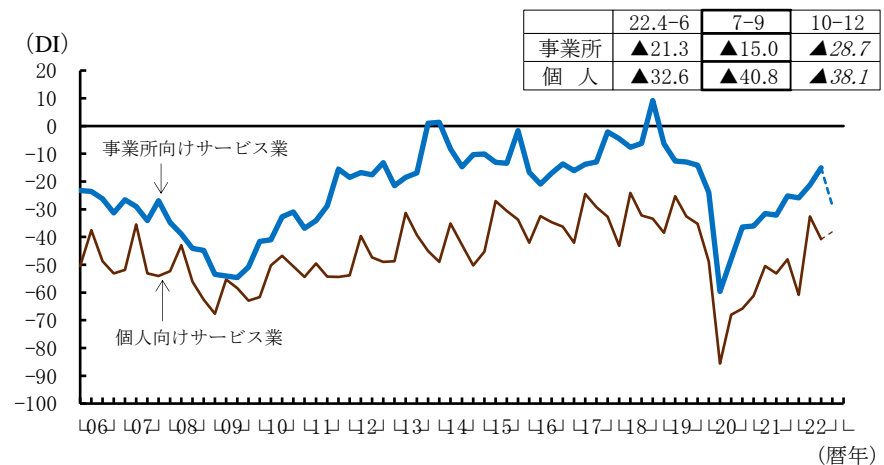
図－２ 業種別業況判断DIの推移





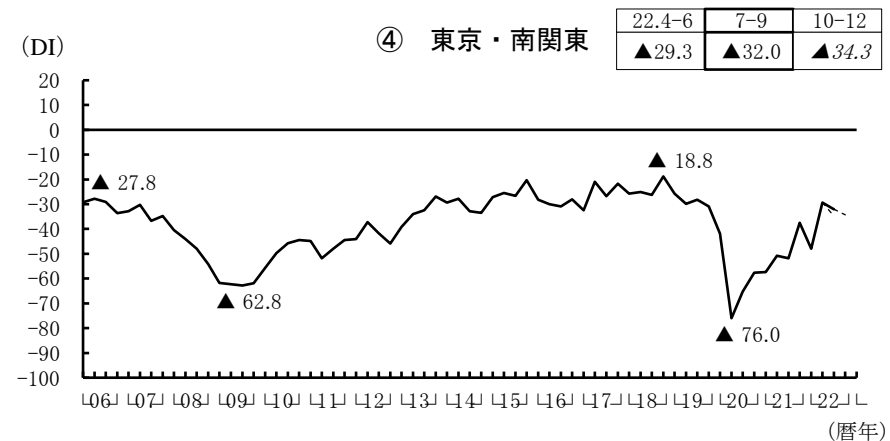
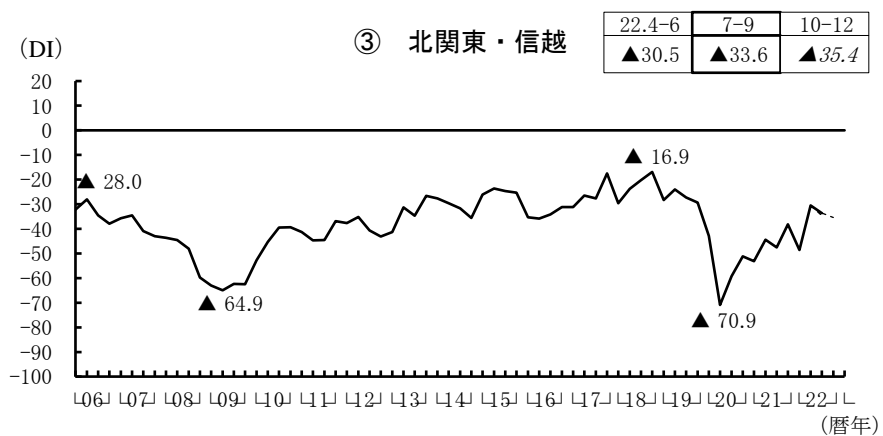
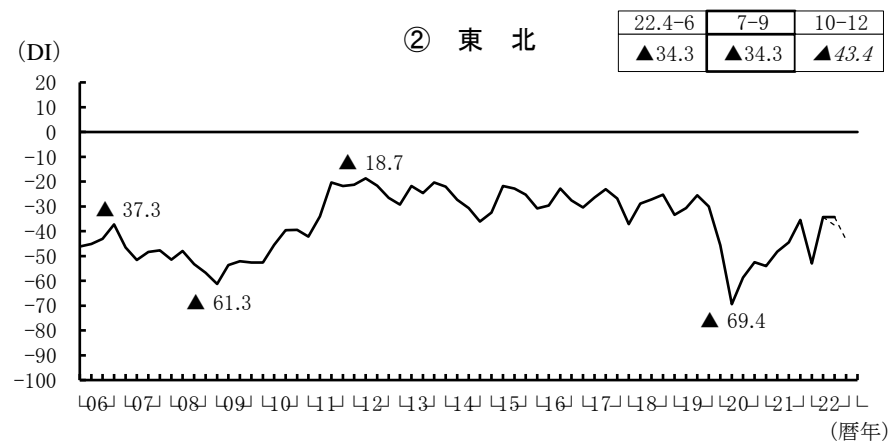
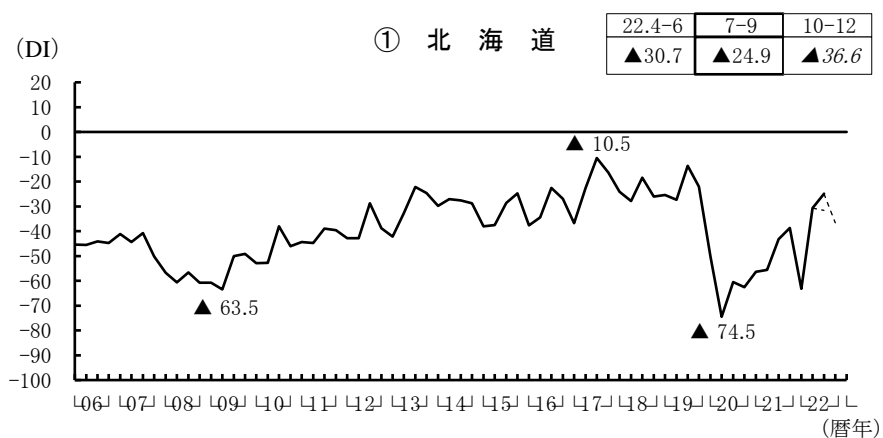


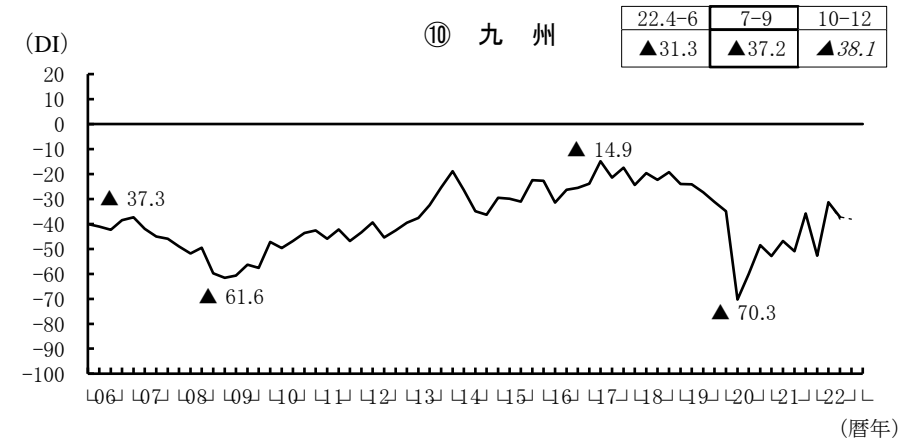
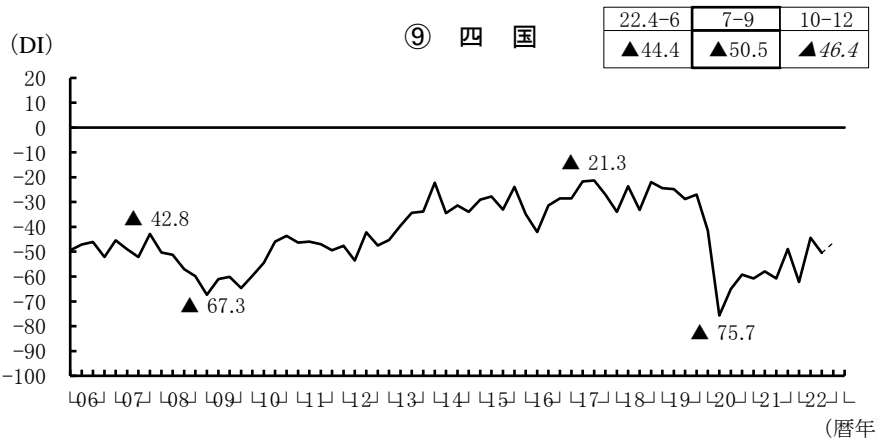
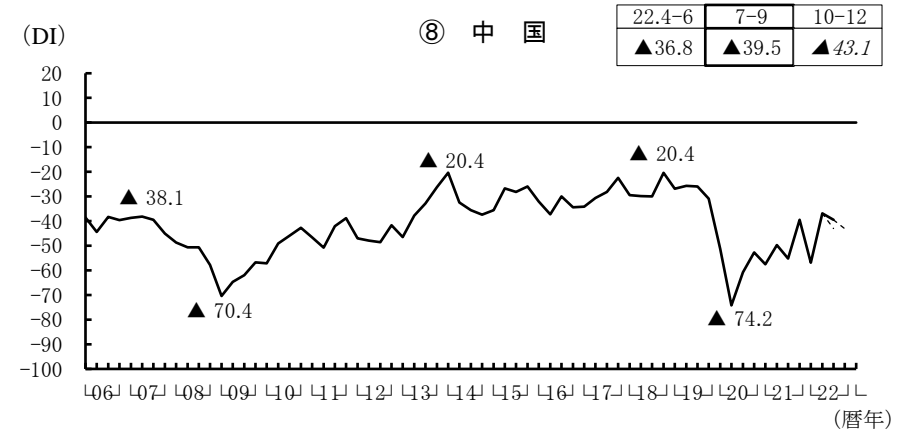
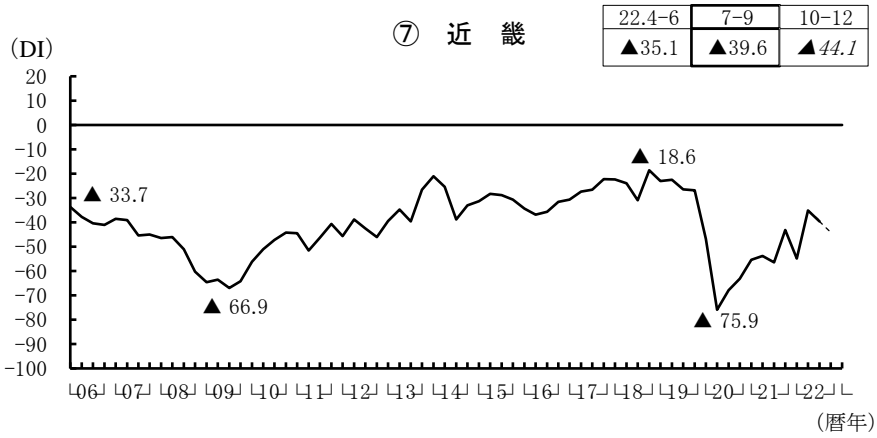
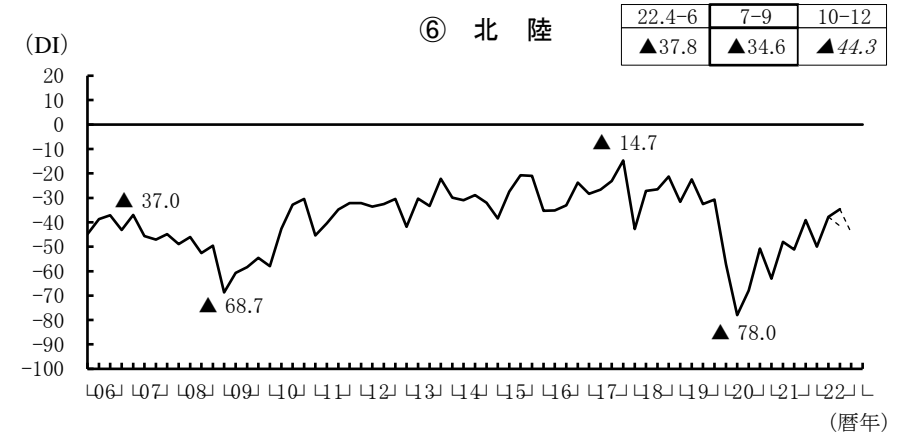
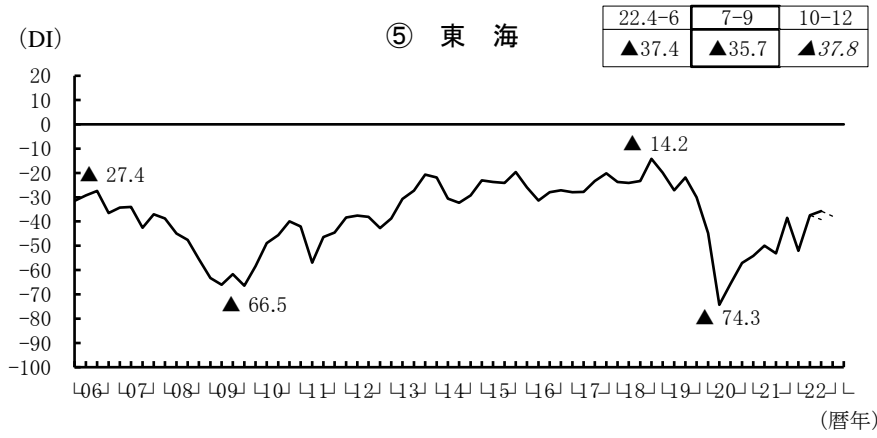
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、北海道、東北、東海、北陸を除くすべての地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期は、四国を除くすべての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－3 地域別業況判断DIの推移

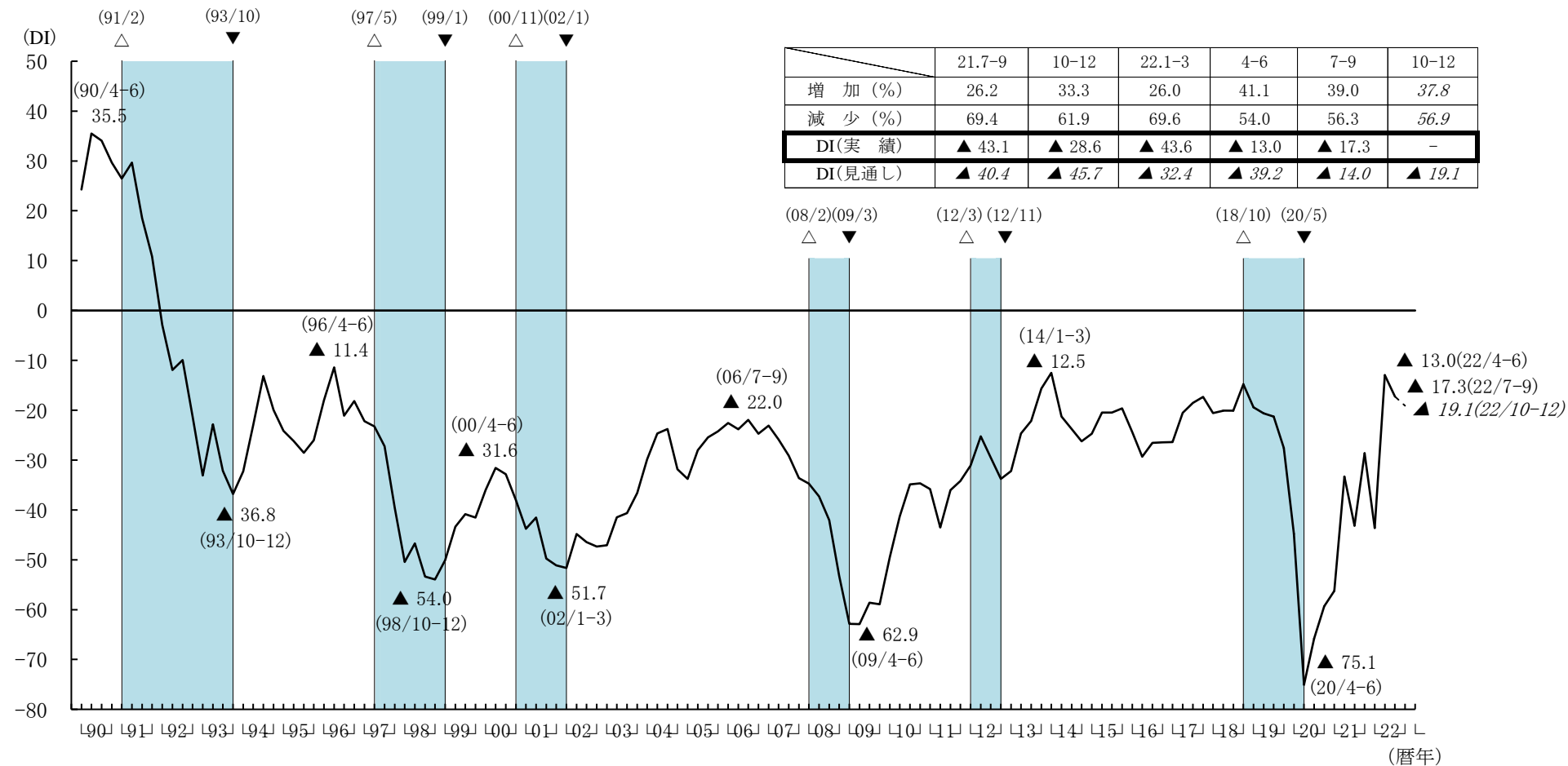




## 2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が4.3ポイント拡大し、▲17.3となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



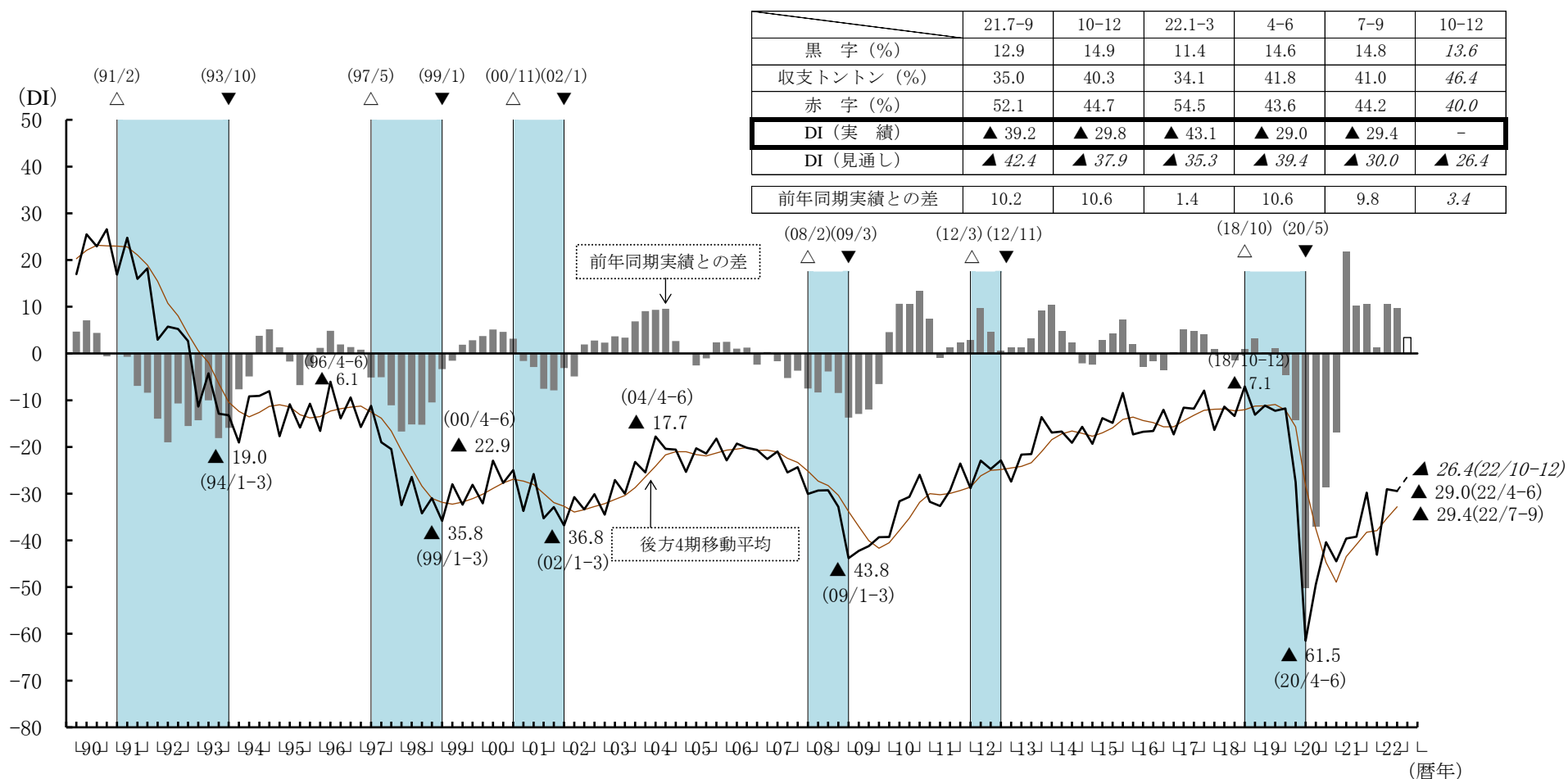
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

### 3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が0.4ポイント拡大し、▲29.4となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

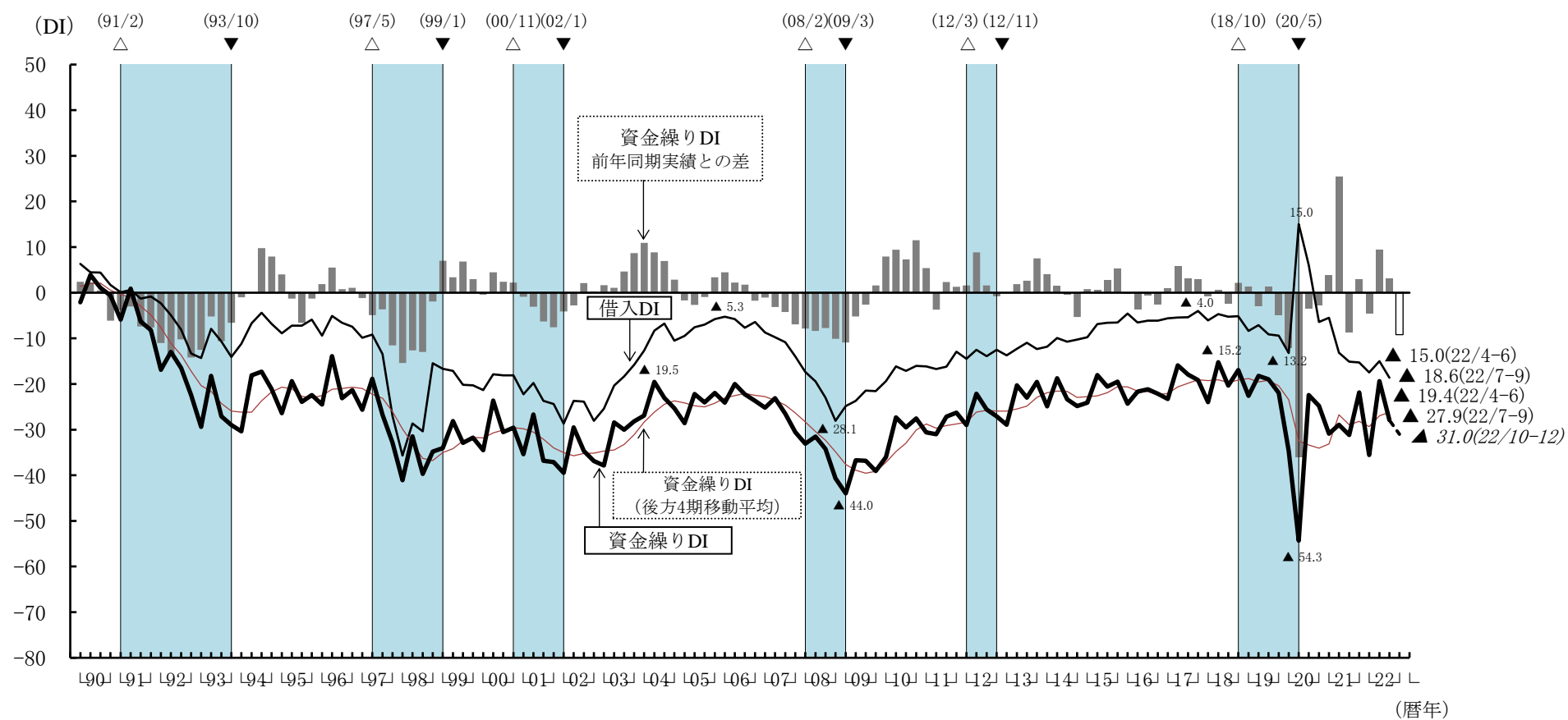
図－5 採算DIの推移（全業種計）



## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が8.5ポイント拡大し、▲27.9となった。来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が3.6ポイント拡大し、▲18.6となった。

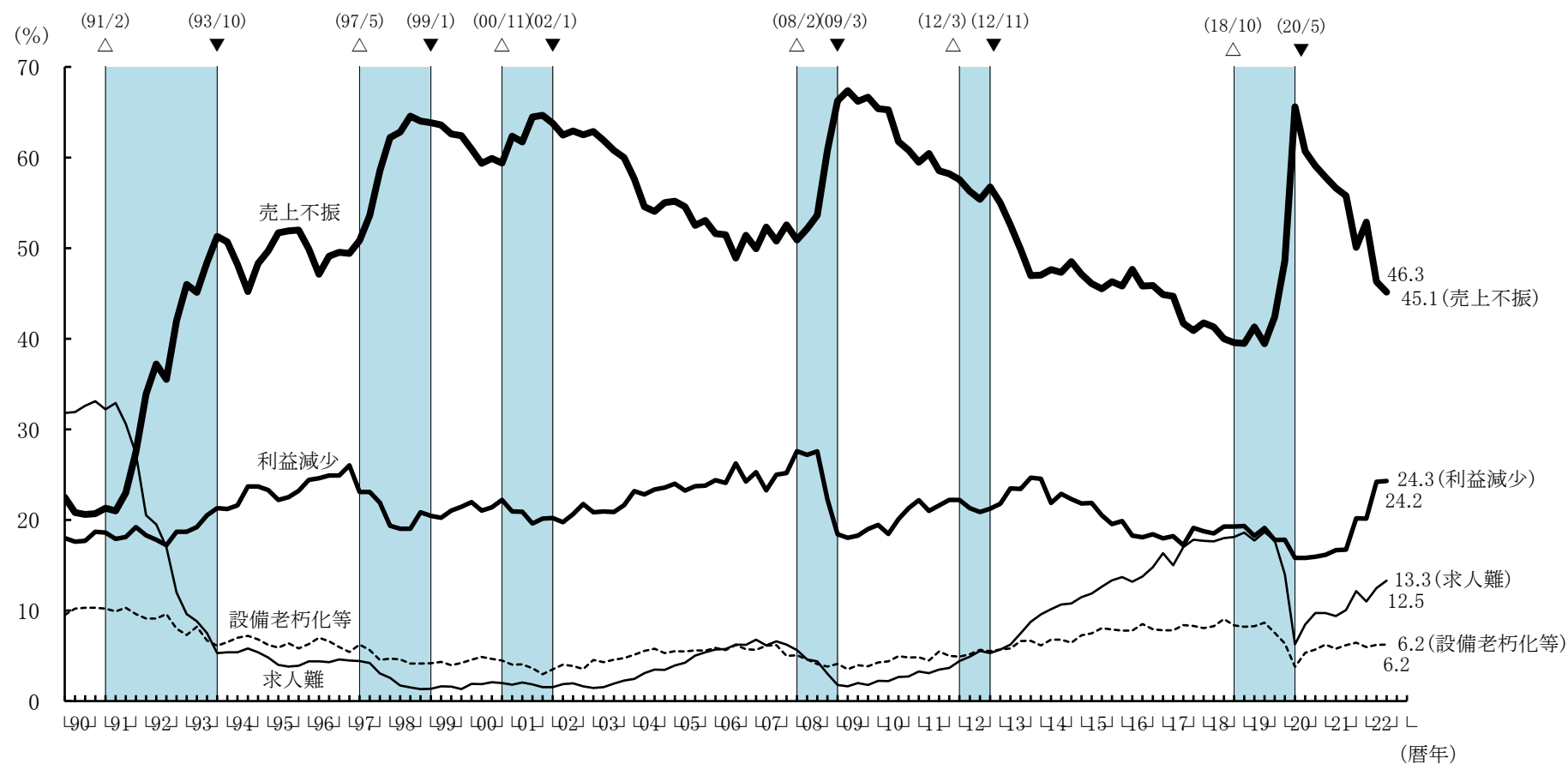
図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



## 5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が45.1%と最も多く、次いで、「利益減少」（24.3%）、「求人難」（13.3%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

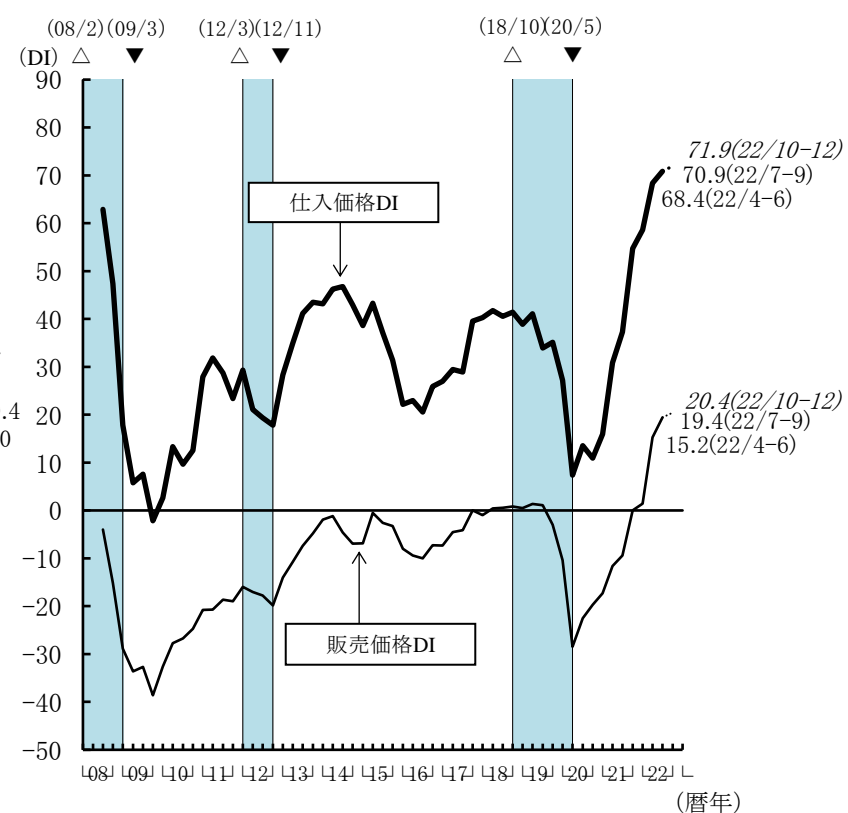
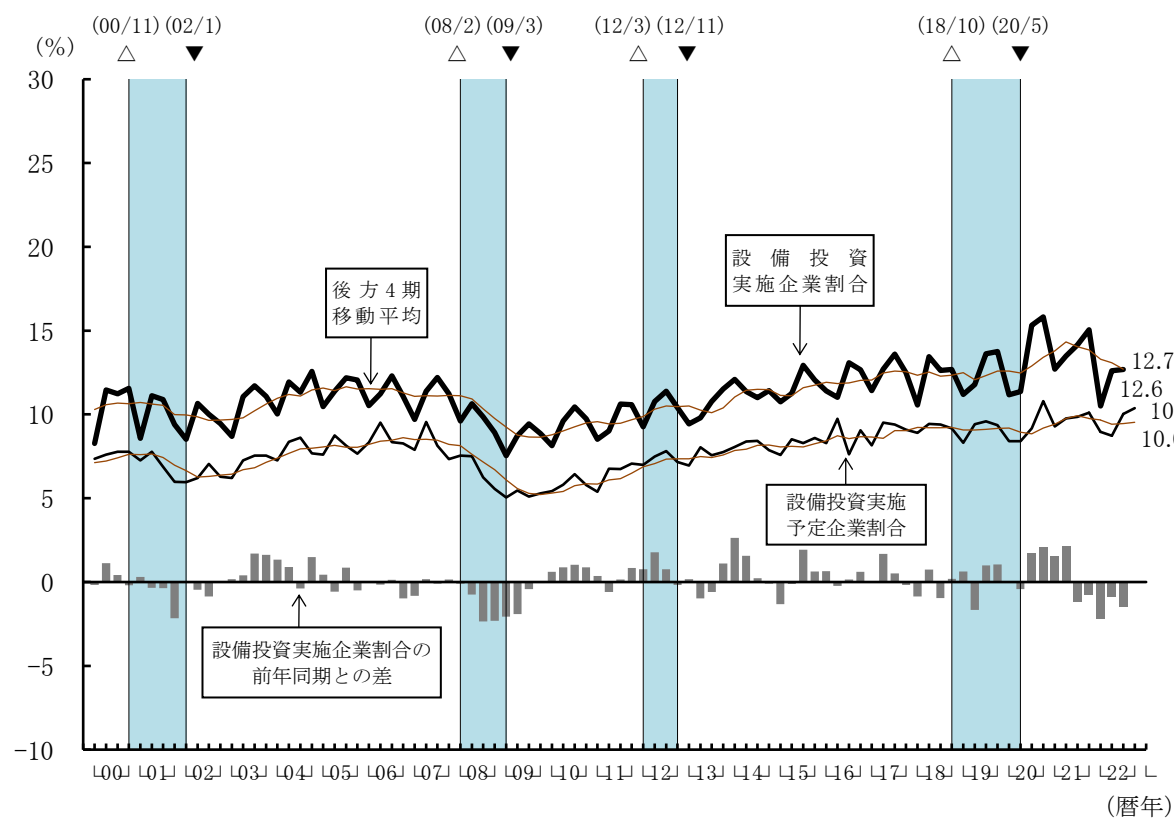


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から0.1ポイント上昇し、12.7%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、4.2ポイント上昇し、19.4となった。来期も上昇する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、2.5ポイント上昇し、70.9となった。来期も上昇する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



# 中 小 企 業 編

(2022年7－9月期実績、10－12月期および2023年1－3月期見通し)

中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、  
持ち直しの動きがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2022年9月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上）13,603社
有 効 回 答 数	6,120 社 [回答率 45.0 %]

### <業 種 構 成>

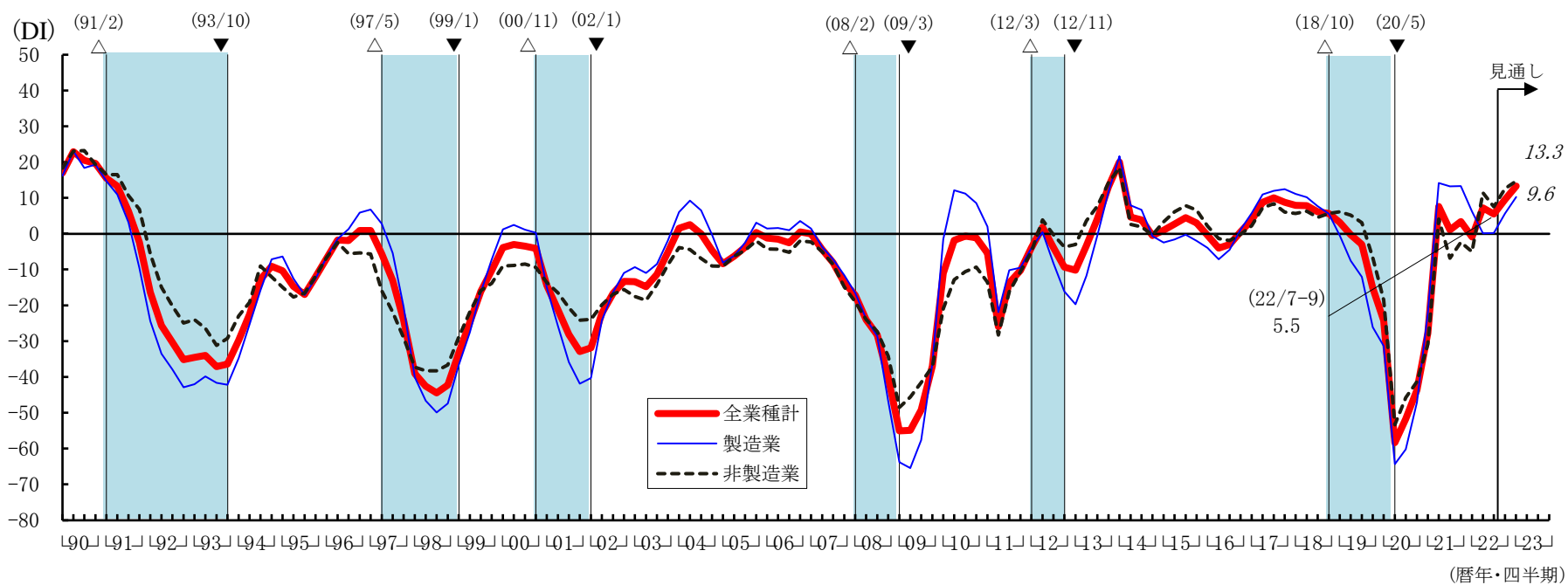
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	4,614 社	2,181 社	(構成比	35.6 %)
鉱 業	17 社	9 社	( 同	0.1 %)
建 設 業	1,293 社	619 社	( 同	10.1 %)
運送業(除水運)	867 社	426 社	( 同	7.0 %)
水 運 業	137 社	67 社	( 同	1.1 %)
倉 庫 業	58 社	30 社	( 同	0.5 %)
情 報 通 信 業	388 社	134 社	( 同	2.2 %)
ガ ス 供 給 業	8 社	6 社	( 同	0.1 %)
不 動 産 業	754 社	319 社	( 同	5.2 %)
宿泊・飲食サービス業	802 社	292 社	( 同	4.8 %)
卸 売 業	1,916 社	909 社	( 同	14.9 %)
小 売 業	1,092 社	465 社	( 同	7.6 %)
サ ー ビ ス 業	1,657 社	663 社	( 同	10.8 %)

# 1 業況判断

- 今期（2022年7－9月期）の業況判断DIは、前期（2022年4－6月期）から1.7ポイント低下し、5.5となった。
- 来期（2022年10－12月期）は9.6と上昇し、来々期（2023年1－3月期）は13.3となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9 (前回見通し)	2022/10-12 (前回見通し)	2023/1-3
業況判断DI (季節調整値)	1.1	3.4	▲ 0.9	7.2	5.5 ( 11.3)	9.6 ( 15.4)	13.3
製 造 業	13.2	13.3	6.2	0.1	0.1 ( 5.7)	5.7 ( 12.7)	10.2
非 製 造 業	▲ 6.8	▲ 2.4	▲ 5.1	11.5	7.5 ( 14.4)	12.6 ( 17.1)	14.7



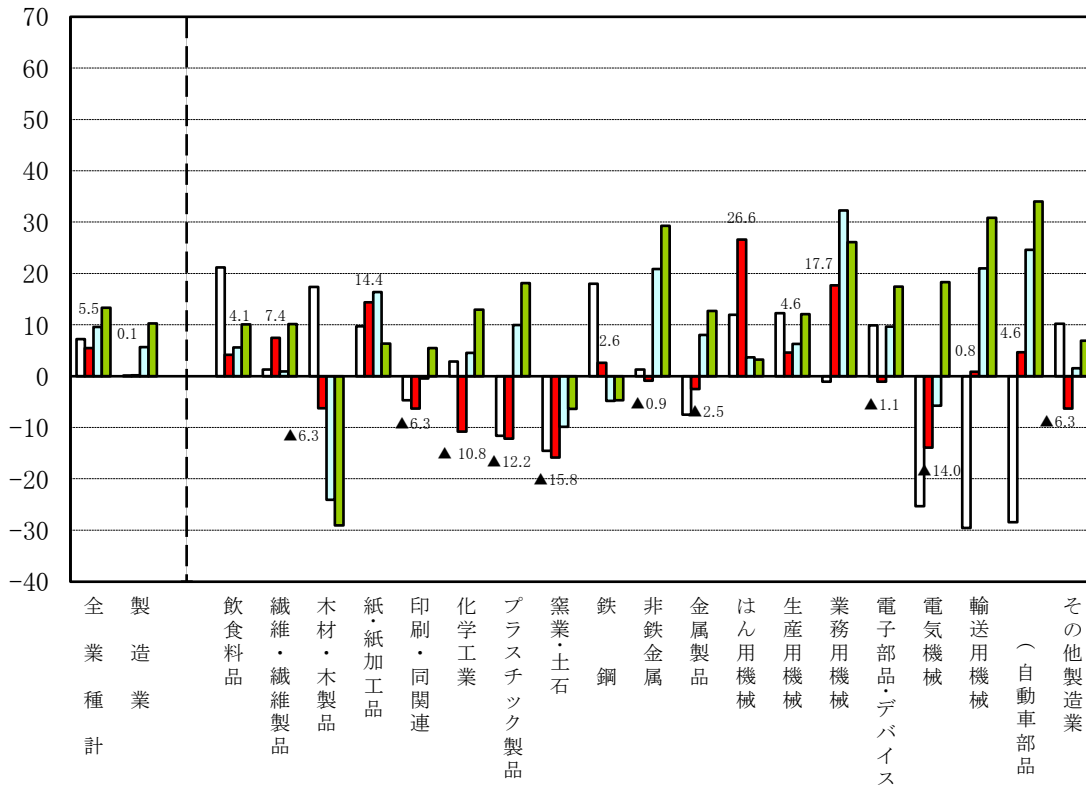
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、輸送用機械、業務用機械、はん用機械等が上昇した。一方、木材・木製品、飲食料品、その他製造業等は低下した。
- 非製造業は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、小売業等が低下した。

図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

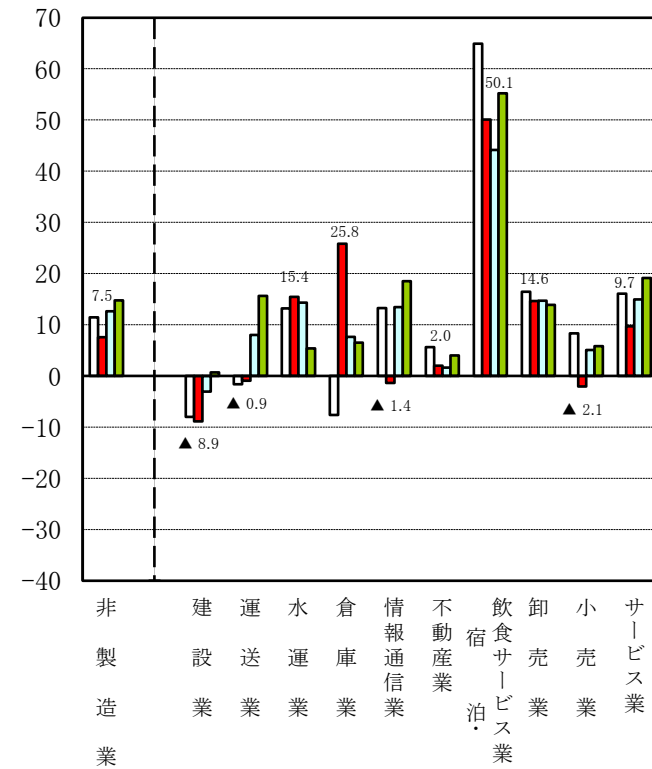


－製造業－  
(DI)



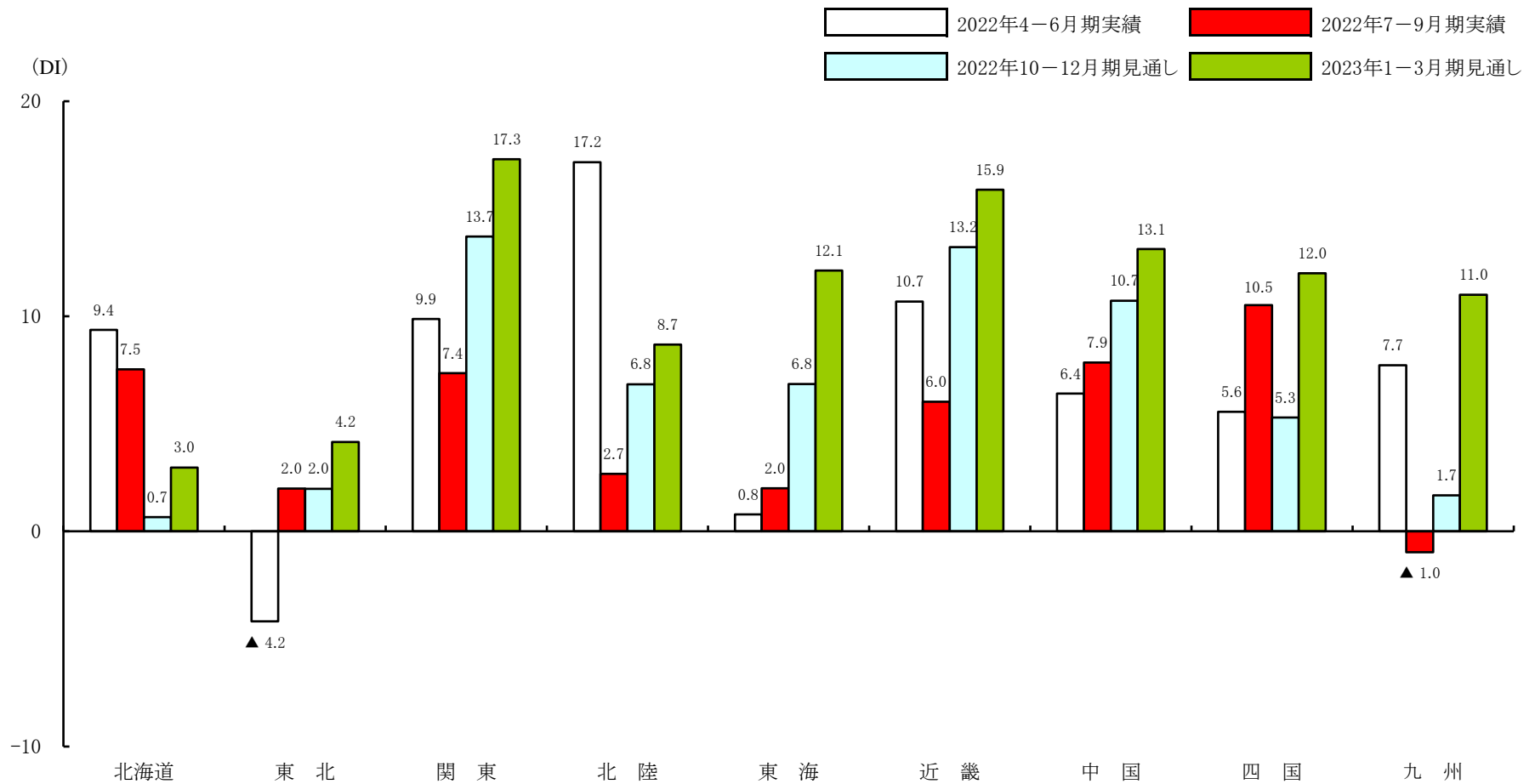
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－  
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、今期は東北、東海、中国、四国の4地域で上昇した。
- 来期は、関東、北陸、東海、近畿、中国、九州の6地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

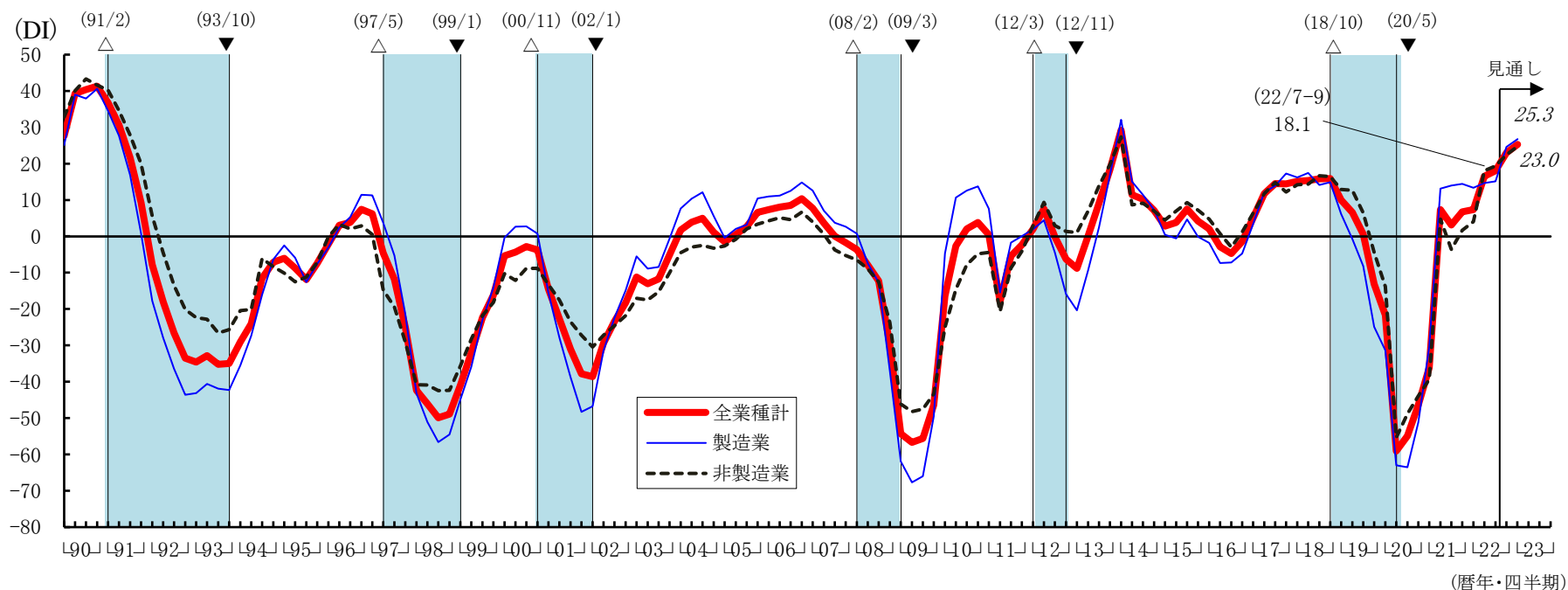


## 2 売上

- 今期の売上DIは、前期から1.6ポイント上昇し、18.1となった。
- 来期は23.0と上昇し、来々期は25.3となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9 (前回見通し)	2022/10-12 (前回見通し)	2023/1-3
売上DI (季節調整値)	3.1	6.7	7.3	16.5	18.1 ( 22.9)	23.0 ( 26.9)	25.3
製 造 業	14.0	14.4	13.3	14.6	15.1 ( 19.9)	24.6 ( 25.1)	26.8
非 製 造 業	▲ 3.6	1.6	4.0	18.0	19.3 ( 25.0)	22.5 ( 27.9)	24.8



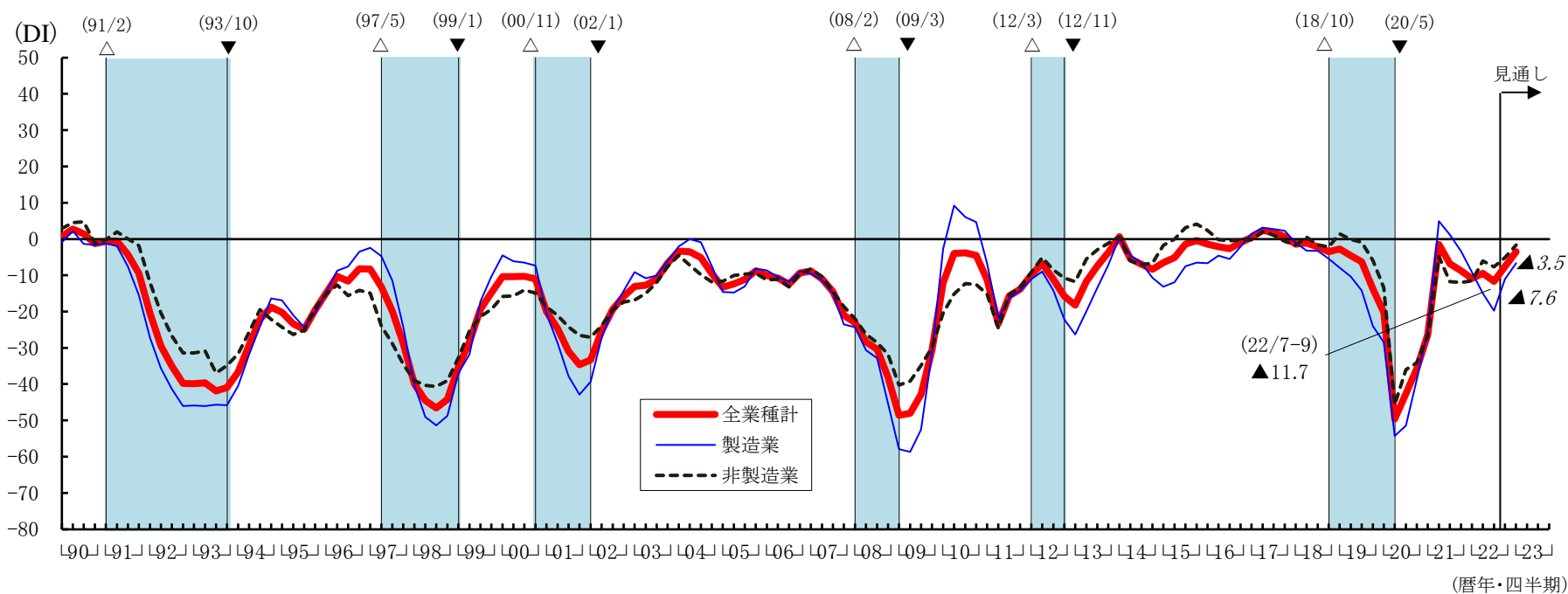
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が2.3ポイント拡大し、▲11.7となった。
- 来期は▲7.6とマイナス幅が縮小し、来々期は▲3.5となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9 (前回見通し)	2022/10-12 (前回見通し)	2023/1-3
純益率DI (季節調整値)	▲ 6.8	▲ 8.7	▲ 10.9	▲ 9.4	▲ 11.7 (▲ 6.7)	▲ 7.6 (▲ 3.1)	▲ 3.5
製 造 業	1.2	▲ 3.4	▲ 9.1	▲ 15.0	▲ 19.8 (▲ 12.1)	▲ 11.0 (▲ 5.7)	▲ 6.7
非 製 造 業	▲ 11.8	▲ 12.0	▲ 11.6	▲ 6.1	▲ 7.7 (▲ 4.5)	▲ 5.2 (▲ 1.7)	▲ 1.6



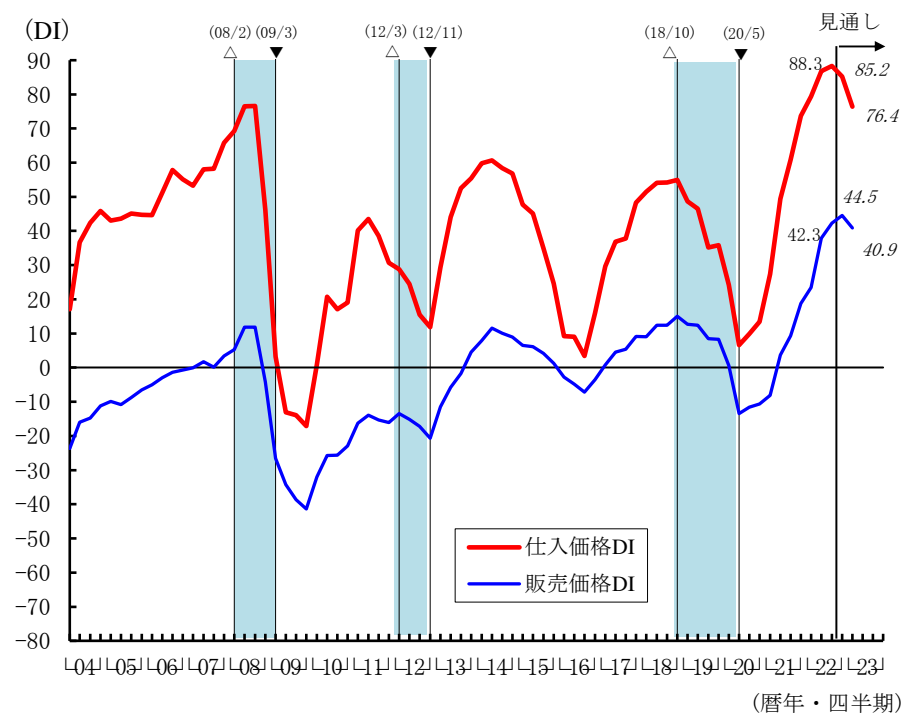
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から4.4ポイント上昇し、42.3となった。仕入価格DIは前期から1.5ポイント上昇し、88.3となった。来期の販売価格DIは上昇、仕入価格DIは低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは前期から上昇した。長期借入難易DIは前期から低下した。短期借入難易DIは前期から横ばいとなった。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

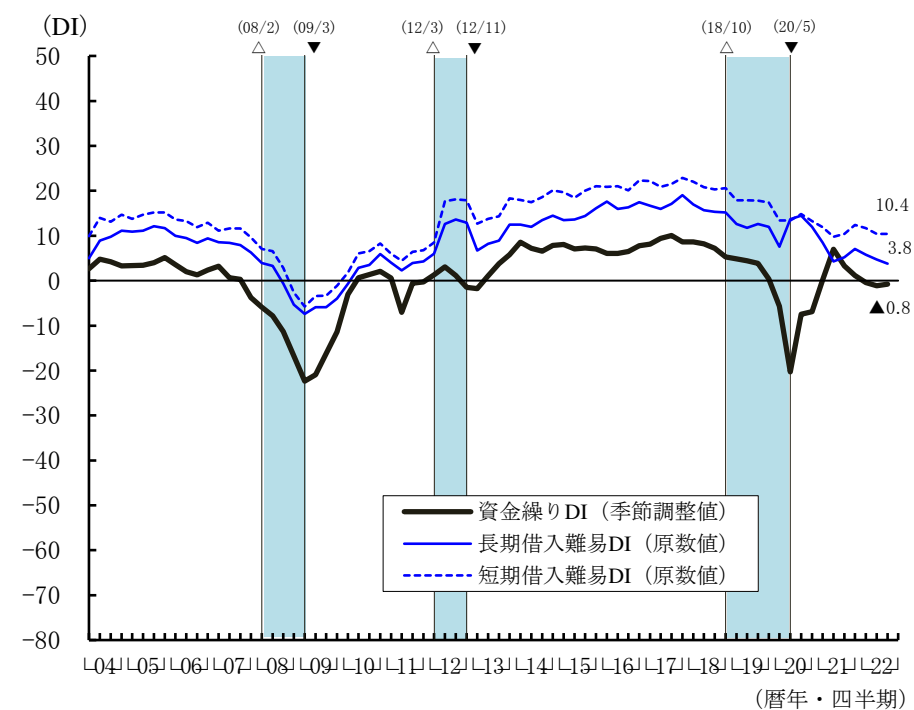
	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3
販売価格DI	9.3	18.8	23.5	37.9	42.3	44.5	40.9
仕入価格DI	60.8	73.7	79.4	86.8	88.3	85.2	76.4



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9
資金繰りDI（季節調整値）	3.3	1.1	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 0.8
長期借入難易DI（原数値）	5.2	7.1	5.8	4.7	3.8
短期借入難易DI（原数値）	10.4	12.4	11.7	10.4	10.4



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

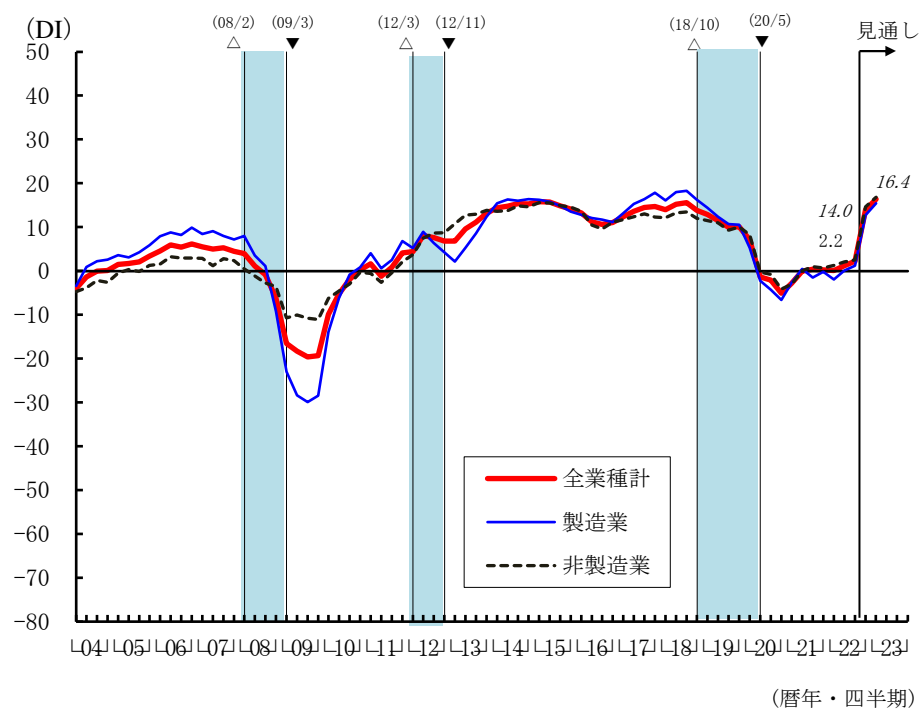


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から1.0ポイント上昇し、2.2となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から0.5ポイント低下し、35.5%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

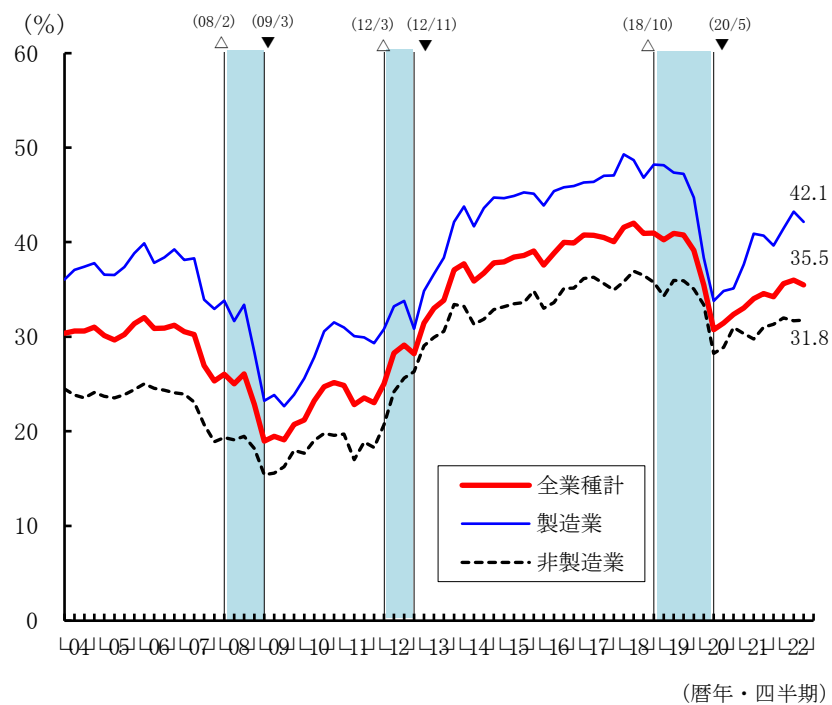
	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12	2023/1-3
全業種計	0.4	0.2	0.1	1.2	2.2	14.0	16.4
製造業	▲1.5	▲0.2	▲1.9	0.1	1.2	12.7	15.4
非製造業	1.0	0.7	1.3	2.1	2.5	14.6	16.8



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9
全業種計	34.6	34.2	35.6	36.0	35.5
製造業	40.7	39.6	41.4	43.2	42.1
非製造業	31.0	31.3	32.0	31.7	31.8



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「原材料高」が34.9%と最も多く、次いで、「売上・受注の停滞、減少」(27.2%)、「求人難」(17.9%)となっている。
- 前回調査と比べると、「原材料高」は0.4ポイント低下した。「売上・受注の停滞、減少」は1.7ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

